



2019年7月4日  
横浜高速鉄道株式会社

## 備蓄食品の寄贈について

みなとみらい線を運行する横浜高速鉄道株式会社（横浜市中区、代表取締役社長 鈴木伸哉）は、大規模災害など万一の事態が発生した場合に備え、防災用品の備蓄など災害対策を行っています。

このたび、防災用の備蓄食品の入れ替えに伴い、サバイバルパン（缶入りパン）および安心米五目御飯（水やお湯を加えることでご飯になる携帯用の米）を、かながわ子どものみらい応援団の一員である「認定 NPO 法人 神奈川子ども未来ファンド※」が県と協働して設置した「つなぐ・支える相談窓口」を通じて、地域の子どもたちを支援する NPO 法人に寄贈いたしました。NPO 法人からは、県内のこども食堂やフリースペースおよび県立高校の校内カフェに配布する予定です。

### 1. 寄贈日

2019年6月28日

### 2. 寄贈する食品

サバイバルパン 24個×16箱=384個

安心米五目御飯 50個×16箱=800個

### 3. 寄贈先

子ども支援活動を行う NPO 法人

NPO 法人から子どもの居場所 3ヶ所（横浜市内 2、川崎市内 1）、県立高校の居場所カフェ 2ヶ所へ  
配布予定

### ※認定 NPO 法人 神奈川子ども未来ファンド

孤立した団体運営や資金難に悩んだ子ども支援の NPO の代表が集まり、「地域みんなで子育てを」という思いを胸にスタートした非営利団体です。企業、組合、商店街等のご協力で広く寄付を募り、子ども・若者や子育てに関わる NPO（民間非営利組織）に活動資金を助成し、子どもの課題を広く伝えることを主な活動としています。